

平日の午後にお届けする[アフタヌーンコンサート]。さまざまご事情で、週末や夜に外出できない方にお勧めです。演奏者のトークを交えながら、休憩時にはドリンク・サービスもある優雅で贅沢な雰囲気コンサートです。どうぞお気軽にお出かけください。きっと素敵な午後が待っています…。

Profile

◆◆**笛 織 絵 (フェオエ)** <http://masumi-harp.raindrop.jp/profile/feoe/> ◆◆

アイリッシュ音楽とオリジナル作品を演奏するケルティック室内楽。

2010年 18世紀アイルランドの吟遊詩人でハーブ奏者であるオキャロランの曲を演奏する目的で結成。ヨーロッパ伝統音楽の香りと日本的抒情性のあるオリジナル曲やアイルランド音楽を演奏して今に至る。ユニット名にはそれぞれ笛・ホイッスル、織・ハーブ、絵・フィドルという意味合いを持つ。2012年6月発売の奥州平泉をテーマにしたオムニバスCD「久遠の鐘 世界遺産プロジェクト in 平泉」に参加。



* 庄司祐子 Shoji Yuko (ホイッスル)

ティン・ホイッスルを安井敬氏に師事。笛織絵 (フェオエ)、Whistling Breeze (ウイスリング・ブリーズ) などでの活動を中心に、サッカー・ワールドカップ、アイルランド大使館主催のイベントなどでの演奏や、レコーディングを行う。奏者、及び指導者としても活動。2007年にはホイッスル・ソロアルバム「Feeling Irish Whistle」をリリース。久石譲氏が手がける映画音楽や、ポピュラー音楽など、アイリッシュに限らず幅広いジャンルで、国内及び海外での演奏や、CD参加も多数。

庄司祐子 HP <http://shojiyuko.com>



ホイッスル



* 坂上真清 Sakaue Masumi (ケルティックハーブ、アイリッシュブズーキ)

1980年代中頃よりアイルランドの伝統的なスタイルである金属弦を張ったケルティックハーブでアイルランド伝統音楽の演奏活動始める。1999年 18世紀以前のアイルランドのハーブ音楽を演奏した1stCD「クラルサッハ」を、2006年には最も高名なアイルランドの吟遊詩人の作品を集めた2ndCD「アイルランド最後の吟遊詩人~オキャロランの世界」リリース。現在はソロ活動を含め、ケルトを含むヨーロッパ伝統音楽に影響を受けつつも独自のオリジナル作品を演奏するユニット「ハンドリオン」、「笛 織 絵」を率いて演奏活動を行っている。



ケルティックハーブ

* 中藤有花 Nakafuji Yuka (フィドル、コンサーティーナ)

幼少からヴァイオリニストの母の影響でヴァイオリンとピアノを始める。中学時代にアイルランド音楽と出会い、高校時代から数度アイルランドに渡り現地のミュージシャンからも学ぶ。現在は、アイルランドの伝統楽器コンサーティーナも演奏し、アイリッシュバンド“tricolor”や“笛織絵”などを中心に活動中。“tricolor”では、2011年3月に八ヶ岳の山小屋でレコーディングしたアルバム“B&B”を発売した。また後進の指導も行っており、大人から子供まで幅広い年齢の方に音楽の楽しさを伝えている。東京音楽大学付属高校・大学卒業。

中藤有花 Blog <http://moon.ap.teacup.com/yukanaka/>



コンサーティーナ

